

互山

新宿区立 戸山小学校

読書の秋

校長 山崎 涼二

戸山小学校では、読書好きの子どもたちを育てるために、10月13日から24日まで読書旬間とし、子どもたちが本に親しめる取り組みをしました。読書旬間中は、朝読書を各クラスで行ったり、図書室で学校図書館支援員の先生がおはなし会を開催したりしました。

私もこの読書旬間中に、4冊の本を読みました。4冊とも戸山小学校の図書室に新しく入った本です。その中の3冊は学校ホームページで「おすすめの本」として紹介させていただきました。

もう1冊の本は「命のバトン」です。3.11東日本大震災の津波を生き抜いた奇跡の牛の物語です。その中でも私は、宮城農業高校の生徒のこぼれに感動をしました。その言葉を紹介します。

「家畜である牛たちは、どんなにかわいいと思っても、肉になる時がきます。でも、牛は食べられることで、わたしたちの命になるんです。そして、『同じ命』になって、一緒に生きていくんだと思います。」



ぜひ、この本を読みご家庭でも命の大切さについて語り合ってください。11月の給食便りにも、品川栄養士から「いただきます」の意味を掲載しました。こちらもあわせてお読みください。

(本の表紙の写真の掲載と本文の引用については、出版社の許可を得ています。)

お知らせ

2 学期より赤ちゃんを産むためにお休みをいただいていた、音楽専科の 中村 恵 教諭は、10月23日(金)元気な女の子を授かることができましたので、お知らせいたします。

学年の窓 4年

社会科見学

4年生は10月8日、1・2組合同でバスに乗り込み、東京港(水上バス見学)、東京みなと館、中央防波堤埋立処分場へ社会科見学に行ってきました。レインボーブリッジや築地中央卸売市場などを水上バスの中から間近に見たり、東京みなと館で臨海副都心の様子や東京港の歴史を学習したりしました。また、2学期の初めより「ごみの処理と再利用」で学習を進めてきた、ごみが最終的に運ばれる中央防波堤埋立処分場に立ち入り、自分たちの目で埋立地の様子確かめるといふ貴重な体験もしてきました。



クラブ活動について

クラブ活動担当 土屋 文枝

戸山小学校では、4年生以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、異年齢集団の交流を深め、共通の興味・関心を追求する活動を行っています。活動しているクラブは、校庭球技、まんが・本作り、理科・工作、家庭科、コンピュータ、演劇・ダンス、戸山遊び、バドミントン、バスケットボールの9つあります。年間16回、一回の時間は55分で児童の自発的な活動計画で運営しています。年度末には3年生がクラブ見学をし、自分の入りたいクラブを決めます。そして各学年で希望調査を取り、次年度のクラブを決定していきます。